

ならた



編集・発行

成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表

21世紀こんな成田になつたらいいなわたしたちの課題

21世紀がスタートして、はじめてのジュニア広報です。そこで、今回は、豆記者のみなさんに「21世紀こんな成田になつたらいいな(わたしたちの課題)」というテーマで記事を書いてもらいました。学校でのことはもちろん、さまざまな活動の中で気づいたこと、考えていることを紹介します。

優しい町

素敵な町

私の理想の成田は、体の不自由な人も、日本人でない人も楽しく仲良く住める町です。困っている人に、進んで声をかけたり、手をかしたりできる人がたくさんいる町、また、体の不自由な人の設備をきちんとしている町になるとよいです。デパートは、多くの人に利用してもらうため、エレベーターには、車イスの用にボタンを低くしたり、目の不自由な人のために点字をつけたりしています。

成田を訪れる人に、「誰にでも優しい町ね。」と言われる、ステキな町になるように努力したいです。

遠山小 加藤 真唯



一人一鉢から

ぼくたちの学校では、毎年5月に一人一鉢運動をしています。今

年はベゴニアを植えました。

ぼくは、総合的な学習の時間環境問題をテーマに学習をしたことがあります。少しでも花や緑を増やしたいという思いから、この運動を大切に行っています。

全校の児童が一人一鉢を持って来て、早くきれいな花が咲くようにと願いながら、花の苗を植えました。毎日苗を見に来る一年生は花が咲くのがとても楽しみなようです。

一人一鉢から花や緑いっぱい成田市にしていきたいと思います。

橋賀台小 木露 翔太

自転車に正しく乗って

5月8日に自転車競技会に出場しました。開会式のとときの警察署長さんのお話の中で、成田市では一年間に七千件の事故が起きていると聞き、とてもびっくりしました。道路は整備され、歩道もきちんとしているのになぜ事故が多いのだろう。原因は、飛び出し、無理な横断、信号無視、そして、一番身近な自転車での事故が考えられます。この大会に出場するために、自転車の正しい乗り方、交通ルールを学びました。始めは、いつもとは違い戸惑いましたが、安全確認



の大切さがよく分かりました。
みんなが交通ルールを守り、事故のない成田市にしたいと思います。

新山小 関川 千尋



外国人と共存できる街に

成田小学校では、英語学習を行っています。高学年になると、表参道を訪れた外国人と会話をします。「参道活動」があります。ほくは、この活動を行って、とても自信のついたことがあります。それは、街で外国人に道などを聞かされても、きちんと案内をしてあげられるようになったことです。

成田市にはこれからもたくさん外国人が訪れます。みんながど

んどん英会話に挑戦して、外国人に対する壁のない、そして外国人とほくたちの共存できる街になつたらいいなと思います。

成田小 青木 隆憲



元気な町成田

ほくは今「成田スリーエス」に入つてサッカーをやっています。将来はプロの選手になりたいと思っています。だから、「成田に国際サッカー場があるといいな」と思っています。

プロの選手が試合できるような大きなサッカー場、子どもや地域

の人が練習できるような芝生のサッカー場もあるといいです。きっとサッカーをやるという人が増えて、成田がもっともって元氣のある町になると思います。

国際空港があるから、外国の強いチームも日本で試合をやりやすくなるでしょう。将来ほくもそこでゴールを決めたいです。

中台小 福島 岳大



久住城をつくろう

今、久住第一小学校の周りは、区画整理をしていて家がたくさん建ち、新しい友達がいっぱい増



え、とてもうれしく思っています。しかし、開発が進み、森や林の自然が無くなっていくことは悲しいです。

そこで、ほくは開発も大事ですが、自然の大切さについて考えはじめました。まず、ほくたちにできることは、学校の周辺に木を植え、緑豊かで、四季の花が、いつでもきれいに咲いている学校にすることだと思っています。そして、22世紀には、みんなが、うらやまがるような、自然豊かな『久住城』と呼ばれる学校にすることがほくの夢です。

久住第一小 高橋 洋平

「ゴミゼロ」成田

新しく始まった21世紀は、ゴミゼロ成田市になつてほしいと思います。

八生小の周辺には、多くの林があります。その林に囲まれた道を歩いていて気がつくのがごみの多さです。

このように、人々が平気でごみを捨てていると、やがてそこに住む生き物たちは、絶滅する恐れがあります。

これからの21世紀では、ごみなるべく出さない工夫が必要だと思えます。できる限りリサイクルに出すように心がけるなど、ごみのことを真剣に考えていきたいと思えます。

八生小 飯田 一貫



豊かな自然を 未来の人に

5月28日、私たちは「里山調べ隊」という学習で、公津地区の里山の様子を調べに行きました。

活動の後にグループごとの発表会がありました。どのグループも、公津にはまだ豊かな里山がたくさんあることに感動していました。でも、一つだけ、とてもがっかりしたことがあります。それは、そんな山の中まで、ごみがたくさん



ん捨てられていたことです。中には、洗濯機もありました。「一体どうしてなのでしょう。」みんなの心を一つにして、豊かな自然を未来の人に残していける、そんな成田にしたいです。

公津小 石橋 梨沙

安全な町

今、私が疑問に思っているのは、人と車がどうして同じ道を通

るのかということです。人が車と同じ道を通っていれば、信号があつても間違えて交通事故が起きてしまう可能性があります。そこで、私は車と人間が別の道を通るようにすればいいのと思います。例えば、今ある道の下に地下の道路を造り、そこを車が通って、

地上の道路を人が歩けるようにすればいいと思います。

さらに、高齢化社会の進む21世紀、お年寄りの方や子どもたちが安心して暮らせる町になることを望みます。

久住第二小 磯部 綾乃



駐車場が たくさんあつたら

ぼくは、いつも歩いて学校へ通っています。でも、道に車がたくさん止まっています。とても危ないし、歩くのが大変です。もし、ぼくが道を作るようになったら、ちゃんとお店の駐車場を造り、そこにちゃんと止まってほしいです。ぼくの理想の成田市は、みんなが楽しくて、住みやすく、便利で、車の渋滞がなく、スムーズに行きたいところに行ける成田市です。ぼくは、21世紀のうちに、理

想の成田市になったらいいな、と思っています。

成田高校付属小 大口 将司



人にも動物にも 優しい成田に…

「ここにもごみがあるよ」きれいに見える学校周辺も、実際にこみ拾いをする、驚くほどたくさんごみがあります。神宮寺小6年生は、ここで拾ったペットボトルや家から持ってきた牛乳パックなどをを使って、リサイクル品を作っています。そして、毎年夏に開かれる神宮寺祭に出品し、その利益を募金します。

これは、昨年、総合的な学習の時間で、動物の絶滅について調べた折、資源を大切にすることで、動物たちを守れると知り、始まっ

た活動です。

21世紀の成田は、リサイクルが定着し、人にも動物にも優しい町にしていきたいです。

神宮寺小 柏原 葉那



身近な環境に 目を向けて

成田市が全国に誇れることの一つは、教育に力を尽くしてくれていることです。特に、我が西中は新校舎になり、毎日がとても快適です。また、学習に必要な物も準備されていて、恵まれています。しかし、学校生活が快適になる反面、校外に目を向けると子どもたちが安全に遊べる場所が少なく



なっています。学校外で育まれる
力もあると思います。

21世紀の成田に生きる私は、身
近な環境を美しく保てる大人にな
りたいと思います。

西中学校 白石 千佳

国際交流の あふれた街

成田市には世界に通じる国際空
港があります。そのため成田には
いろんな国の人たちが訪れます。
そうした人との国際交流を積極的
に支援し大切にする成田市になっ
てほしいです。

今、ぼくたちの学校にはエレナ
さんというALTの先生が来校し
ています。エレナさんから外国の

文化や英語を教えてもらいまし
た。これも小さな国際交流です。
ぼくたちの住む豊住は、日本の
文化の代表とも言える田んぼがた
くさんあり、豊かな自然に恵まれ
ています。

ぼくは成田市民として、この文
化を外国の人たちに紹介してい
きたいと思っています。

豊住中 伊藤 勇希



成田のごみを 拾うおばあちゃん

ぼくの家の近所にごみを拾うお
ばあちゃんがあります。そのおばあ



ちゃんは朝早くからタバコの吸い
殻やビニール袋、いろんなごみを
袋いっぱい拾います。そして、
夕方6時ごろまでずっとその近く
を掃除しています。雨の日も風の
強い日もほとんど毎日掃除をして
います。

おばあちゃんは、タバコやビニ
ールなどを捨てる人に注意もして
いますが、そういう人は一日にた
くさんいるそうです。時々ぼくも
手伝いをします。

21世紀に美しい成田を残してく
れようとしているおばあちゃん。
ぼくたちもぼくたちの成田を大切
にしなくてはと心を新たにしまし
た。

玉造中 本橋 洋平

いつまでも 伝統を育む町で

私たちの中学校では、地域を知
ったり、ボランティア活動したり
するため、毎週、総合的な学習の
時間を設けています。

昨年、私はその学習を通して約
300年も前から市民に愛され続け
ている成田祇園祭に深く触れるこ
とができました。

祇園祭は江戸時代から続く、歴
史ある成田の文化です。近くに空
港があるためか、毎年多くの外国
の人々も参加をしています。日本
の伝統を他国の人と一緒に楽しめ
るということは、とても素晴らしい



あとがき

豆記者のみなさんの記事
から、学校での学習や行事、
その他さまざまな活動を通
して、福祉・環境・国際理
解・安全・地域に関心が向
いている様子が伝わってき
ました。

明日の成田を担うみなさ
んに期待したいと思います。

いことだと思えます。祭りを通し
て文化交流を図り、美しい成田を
21世紀に伝えたいと思います。
成田中 大澤 学弓